

為櫻祭を振り返る



2020年(令和2年)

9月16日

水曜日

発行所

茨城県立下妻第一高等学校新聞部

発行人 吉 田 俊 則

編集人 渡 辺 琴 美

今年の為櫻祭は、新型コロナウイルス感染症の影響で本来2日間の日程が変更され、一般公開がなくなり異例の1日限りの開催となった。クラスでの出し物がなくなり、規模は縮小されたが、多くの文化部の発表によって生徒達は盛り上がりを見せた。感染予防のために、消毒やマスク着用を心がけながら3密を防ぎ、熱中症予防のために、水分補給などの対策が徹底された。

西教室では、英語部による発表が行われた。1人1枚英語の文章が書かれたカードが渡され、そのカードが示している英単語を推測し、テーブル上にある単語のカードから正しいものを見つけ出すという内容だった。生徒だけではなく、先生方もゲームに挑戦する様子が見られ、大いに盛り上がった。

学習館では、弦楽部の発表が優美に行われ、有名な「ミッキーマウスマーチ」や「コナンのメインテーマ」などの曲が披露された。「魔女の宅急便」でお馴染みの曲「海の見える街」では、楽器の弦を指で弾く様子が見られ、会場の雰囲気は爽やかになった。どの曲も少しの乱れもなく、美しい音色が響きわたっていた。

第1体育館で行われたダンス部の発表は、序盤のパフォーマンスからパワフルな振り付けで多くの生徒を魅了した。披露した楽曲はリズムに乗って楽しめるポピュラーなものから、テンポが速くキレのあるダンスが特徴的なマイナーなものまで、バリエーションに富んでいた。一部の生徒はペンライトを持ち、会場全体を盛り上げていた。

第2体育館では、軽音部の発表が大に行われた。1回目と3回目では3年生、2回目では2年生の発表が行われた。「シャルル」や「紅蓮華」、「サクラ咲ケ」などの人気のある有名な曲が演奏された。何人かの生徒は、一緒に歌ったり、持参したメガホンをリズムに合わせて振ったりしていた。軽音部員だけではなく、生徒達も会場を盛り上げる様子が見られ、第2体育館は本物のライブ会場のようであった。

視聴覚室では、演劇部の発表が行われた。演劇のタイトルは「うさみくんのお姉ちゃん」。部員一人ひとりの役柄が個性的で台詞に感情が込められ、見る者に違和感を感じさせない圧倒的な演技力で臨場感あふれる舞台を作り上げていた。視聴覚室にはたくさんの生徒が訪れ、各々が演劇の世界観に引き込まれていた。演劇が終わると演者が生徒を笑顔で送り出す姿が見られ、親切的な行為に胸打たれた。

第1体育館では、応援団・チアリーダー部による発表が行われた。応援団のキレのある動き、迫力のある声、そしてチアリーダー部の華麗なダンスに多くの生徒が魅了されていた。例年通りに定期戦や野球応援が行われなかったため、久しぶりの応援メドレーや校歌の合唱となり、多くの生徒は汗を流しながらも夢中になっていた。

その他の部活(囲碁将棋部、書道部、写真部、美術部、為櫻新聞部)もそれぞれの特色を活かして発表していた。有志発表では、お笑いアニメソング歌唱、ヲタ芸が披露された。特に盛り上がったのはヲタ芸である。「夜に駆ける」や「脳漿炸裂ガール」などの曲に合わせて披露された。サイリウムの光が音楽にのり、会場全体の観客の目を釘づけにした。



前期生徒会会長の言葉

「生徒会活動を振り返って」
3年6組 鈴木優作

みなさんこんにちは。

前期生徒会会長を務めております、鈴木優作です。時間が経つのは早いもので気づいたら会長まで務め、その生徒会の活動も終わりを迎えていると考えると、とても濃厚で充実した時間を過ごすことができたと思っております。

さて、私が生徒会会長としての活動を振り返ってみると語りつくせないほどの体験をさせて頂いたと思います。初めて会長を務めた前年度後期生徒会。踏破会から始まり、

次今年度前期生徒会についてです。新型コロナウイルスの影響もあり定期戦を実施す

ることができなかったのはとても残念でしたが、文化祭は行うことができました。新たな仲間たちと企画やら準備やらできてとても楽しかったです。これから前期生徒会役員みんなにはいろいろ迷惑かけられると思いますがよろしくお願いします。

少しは成長して頼れる生徒会長になったかなと心配になることはありませんが、これからも任期が終わるまで突っ走っていききたいと思います。